

新たに寄贈された資料のミニ展示を行います

諏訪市博物館では8月8日から9月27日まで、2階すわ大昔ミニギャラリーにおいて「新寄贈品からみた瀧沢益作の考古学」を開催します。

- 1 展示名称 新寄贈品からみた^{たきざわえきさく}瀧沢益作の考古学
- 2 開催期間 令和8年8月8日(土)から9月27日(日)
開館時間 午前9時から午後5時
展示会場 2階 常設展示室2 すわ大昔ミニギャラリー
休館日 月曜日、祝日の翌日
入館料 通常どおり

- 3 内 容 当館所蔵の藤森栄一資料(国登録有形文化財)には、大正時代の平野村(現岡谷市)で考古学に関わる活動を行っていた、瀧沢益作(明治15年生・昭和26年没 70歳)が蒐集した考古資料が含まれています。その一部は大正13年発行の『諏訪史』第一巻に掲載され、著者の鳥居龍蔵は巻頭文において調査協力に対して感謝を記しています。

一方で、戸沢充則が『岡谷市史』上巻などで記述しているように、瀧沢は文章で調査研究を公表しなかったとして、「蒐集家」とのイメージがありました。ところが、岡谷市の自宅にあった瀧沢の資料が令和7年7月に当館に寄贈され、その内容などを見たところ、大正時代に発行されていた新聞への連載投稿記事や、遺跡・遺物に関する手書き記録が存在しており、瀧沢は考古学の最新の研究法や情報を得て、熱心に、深く理解し、自らの考えをまとめて発表していることが明らかとなりました。

そこで、新聞連載記事、本人直筆の日記、藤森栄一資料中の瀧沢益作旧蔵品を展示して、「考古学研究者 瀧沢益作」について周知する機会を設けます。

なお、本展は学芸員資格取得を目指す大学生の博物館実習生3名が、展示パネルの作成や設置などを行います。

郷土史や考古学を調べたい・学びたいお客様、
すわ大昔情報センターをご利用ください。



〒392-0015 長野県諏訪市中洲 171-2
諏訪市教育委員会事務局 生涯学習課 博物館
館長 小松 担当 児玉
電 話 0266-52-7080
FAX 0266-52-6990
メール suwamu@city.suwa.lg.jp

